

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年1月17日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学（渡航）した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年12月27日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	イーストアングリア大学（日本語名） University of East Anglia（現地言語名）
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年9月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名 日本語名： 言語コミュニケーション楽部 現地言語での名称： Language and Communication studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他：
学年暦 ※記入例： 1学期：4月上旬～7月下旬 2学期：9月中旬～2月上旬	1学期：9月下旬～12月中旬 2学期：～ 3学期：～ 4学期：～
学生数	16,872
創立年	1963

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (£)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	1000	220,000 円	自分はシェアルームの予定が 1 人部屋になり、大きな部屋を 90£。
食費	1140	205,000 円	自炊を心がけるが、外出などが多かったりパーティーなどにも参加する際に食費が想像以上にかかる。
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	40	5600 円	three という携帯会社の SIM カードを購入し、月 10£のプランで過ごした。
現地交通費	60	10,800 円	ノリッジまでの街へのバス費用(往復で 4£) (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	170	30,000 円	スポーツチームに入るためのお金や練習に必要なもの、遠征費やイベントなども含まれる。
被服費	40	5600 円	
医療費	0	円	
保険費		39,995 円	形態：明治大学から指定される保険のみに加入した
渡航旅費		288,360 円	スカイスクャナーというサイトから往復アメリカ経由で購入した。
ビザ申請費	0	円	
雑費	50	9000 円	タオルや洗剤、食器類など、必要最低限のものを購入した。
その他		350,000 円	約十日間のヨーロッパ旅行での移動費、滞在費、食費や国内旅行などの合計
その他	120	21600 円	洗濯代(一回 6£)やお土産などその他の部類
合計	6,588	1,185,955 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地： 東京羽田空港 目的地： ロンドンヒースロー空港 経由地： ワシントン空港 復路 出発地： ロンドンヒースロー空港 目的地： 羽田空港 経由地： ワシントンダレス空港
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： ユナイテッド航空 料金： 288,360 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名： ） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名： Skyscanner） <input type="checkbox"/> その他（ ）
滞在形態関連
1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎等）
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前： Into） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 ）
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン（ <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可）
4) 住居を探した方法：
大学のサイトで選択， ホームページに料金や部屋の詳細などが記載されている。
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
自分の泊まったところは比較的新しくできた寮だったのでカフェテリアがあったり， ゲーム機や卓球台があるとこなので内外で設備が充実している印象です。その分高いので，そこは値段と質のバランスを見て，特にキャンパスのどこに位置しているかをよく見た方がいいと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例：現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所： 突き指程度なので自分で解決)

2) 留学期間中、学内外で問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等：)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮と大学のネットは共通で比較的安定していました。キャンパスのどこにいても基本的に繋がるようになっていました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的に空港に着いた時に最低限の分の現金をポンドに変換しました。しかし、その分レートが通常よりもおかしい場合が多いのでそこは要注意です。基本的にイギリスはカード社会なので現金は特に引き下したりしませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

食料や調味料系は必須だと思います。衣類は極論こちらで購入もできるので、料理するための醤油やごま油や簡単に作れるカップ麺などはあるといざという時は困らないと思います。それ以外は現地調達でいいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
60 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由：大学での単位は取り切っていた）
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 履修の制限があった：	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
Translation issues across media	メディア間の取引問題
科目設置学部・研究科	Language and communication Studies
履修期間	1 学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	セミナー（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Eugenia Preiffer
授業内容	翻訳や通訳などにおいて、その媒体や行う言語の文化などは翻訳された文章などにおいてどのような影響があるか、様々な観点から見て考える授業。
試験・課題等	グループプレゼン一回と、期末前に最終プレゼン、期末レポートとして 2500word のレポート
感想を自由記入	翻訳という一つのテーマが決まっている中で様々な分野に対してアプローチをしていくので、翻訳形態やより専門的な知識が問われるこのある非常にアカデミックな授業です。初見の情報がたくさんあるので、予習に力を入れることをお勧めします。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
Understanding second language teaching	第二言語教育理解
科目設置学部・研究科	Language and communication studies
履修期間	1 学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	セミナー（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Mariya Gomez Bedoya
授業内容	第二言語教育に関する授業で、授業内では基本的に教員視点から言語の教育においてどのような教育法があったり、その教育法では何が効果を得るかなど教員を目指している人にとってはとても意味のある内容。
試験・課題等	中間で模擬授業と期末に授業計画書の提出
感想を自由記入	この授業は授業に関することを先生が授業内に実践したりするので、非常にアクティブな授業だと思います。ベースとして教員視点でなようは進んでいくので、教員志望の人で特に英語を教えたいと考える人にはいいと思います。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
advanced english B2 CEFR	アドバンス英語
科目設置学部・研究科	Language and communications
履修期間	1 学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	セミナー（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Bettina Pfeiffer
授業内容	日本の英語の授業と変わらない、様々な議題をもとに文法や単語の勉強などをする。メインとしてディスカッションがある。
試験・課題等	期末レポートと Podcast（ラジオ的な）
感想を自由記入	この授業は比較的留学生が多いと思いました。特に日本人が多数いるので、雰囲気とかはこっちの英語の授業と変わらないと思います。シンプルな英語の授業なので、英語の全般的な上達だったり英語の授業に慣れたい人にはおすすめです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他：

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

ワンキャリア、マイナビ、リクナビ、Open work

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。

内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。

就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)

就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を

教えてください。

留学中にも就職する機会というのはたくさんあります。海外とは言え、時差を言い訳にするほど企業は待ってくれません。エントリーや面談に場所はありません。企業は基本的に平等に機会を与えます。それに乗っかるべきです。それに周りに日本人はたくさんいるので相談は色々な人とするといいでしょう。正規生でも就活をしている人はいるので、彼らに聞くのが1番かもしれません。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
 期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	語学資格の勉強、取得 派遣先大学の選定
	10月～12月	留学するために明治大学に出す書類の提出、面接などの選考
留学開始年	1月～3月	オリエンテーションや留学先の言語の勉強、早めの準備
	4月～7月	授業の選択申請や寮などの滞在先など大学への申請諸々
	8月～9月	航空券購入、滞在先の確定
	10月～12月	留学先でのメインの勉強、中間プレゼンや期末の説明など、帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	



留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

自分がこの大学を選んだ理由はシンプルに英語を勉強したいからです。卒論の一環としてイギリス英語を勉強する必要があるので、イギリスにあるこのイーストアングリア大学を選びました。このイーストアングリア大学は初めて留学する人にお勧めしたい大学だと思いました。制度から自分はこの大学がルウ学生に対して慣れているという風に感じました。沢山の留学生がこの大学に訪れますが、大学のイベントの豊富さだったりバックアップの充実さなどは生活した自分が1番感じました。このイーストアングリア大学で過ごした3ヶ月の生活というのはとても充実していました。フラットにはいろいろな国から来た留学生もいますし、クラブチームに入れば現地生徒も交流することができて、出会いの場というのは無限にありました。勿論、日本人もたくさんいるのでそこは一つの憩いの場ともなれるでしょう。

しかし、依存と挑戦のバランスをしっかりと見極めることが必要だと思います。日本人が多いが故にそこに甘え、依存してしまう人がいると思います。それはまた1人の個人の過ごし方なので否定はしません。だが、それでは留学の意義というのが失われてしまいます。あくまでも我々は明治大学を代表しているというのは頭の片隅に残しておくべきです。そこでの振る舞い、交友関係の構築においてる留学先である意味といのは考えとく必要があります。その上で、挑戦に繋がると思います。自分はコーフボールという日本においてはマイナースポーツと思われるチームに入りましたが、これはまた自分の中での挑戦とも言えます。このチームには入ったからこそ自分にイギリス人の友人ができたと言っても過言ではないでしょう。それほど自分の一つ一つの行動によって自分の留学の成果、生活というのは簡単に変わります。留学とはなんのためにあるのか、自分の思う留学とは何か時には原点に立ち返ることもいると思います。その中で自分の留学においては何をすべきか、何をすることで自身の中で何かしらの形で成果が出るのかを考えてみてはいかがでしょうか。

留学とは、人それぞれによってどのような影響を及ぼすかは千差万別です。友達なら英語力の向上を感じたり、自分だったら新生活や新しいコミュニティに入ることによる成果を感じたりと別々になります。なので、自分が留学を経て、どのような価値観をもらったり、どのような過程を経て留学での成果をもらいたいか志望する際に一度考えてみましょう。将来の留学でのビジョンを一度自身で浮かべることが大切です。それでも、留学での悩みや不安があるのなら、周りに気軽に相談することがいいでしょう。自分もメールアドレスなどを介して連絡をしてくれたら相談には乗りますので気軽にご相談してください。皆さんが留学に行けること、そして無事で楽しい留學生活を送れる様応援しています。

